

区ホームページに個人情報を誤って掲載

7月12日、杉並区の公式ホームページに掲載していた高齢者実態調査の結果データに、個人情報が含まれていたことが判明しました。この情報は、7月10日午後1時から12日午前11時頃まで掲載されていました。

1 高齢者実態調査

この調査は介護保険事業の計画策定や地域包括ケアシステム構築など高齢者施策の基礎資料として、3年に1度調査を実施しています。直近の調査は、平成28年9月15日から10月31日にかけて、およそ1万人を無作為抽出し実施しました。調査の内容は、「日常生活圏域ニーズ調査」と「介護保険に関する調査」で、家族構成や収入、居住形態、食事・介護の状況など多岐に渡ります。

こうした高齢者の置かれている状況を、データとして広く提供するため、調査に対する回答を区公式ホームページに掲載しました。

2 個人情報を誤って掲載

7月12日午前10時30分頃、区職員が高齢者実態調査のデータ（エクセル表形式で提供）を閲覧したところ、氏名と住所が付された自由意見の掲載に気づきました。午前11時、区ホームページからデータを削除しました。

掲載したデータに、氏名・住所の調査項目はありませんでしたが、自由意見欄に生活の支援などを求めた6名の方の連絡先が記されていました。この6名の方には、これまでの経過を報告し謝罪します。

- ・個人情報・・・6名分の住所・氏名と調査結果データ
- ・発生日時・・・平成29年7月10日午後1時～7月12日午前11時
- ・該当ページへの訪問者数・・・18件

3 田中良区長のコメント

行政が保有するデータの公開は、区民の利便性や区民サービスの向上のために必要なことと考えていますが、個人が特定できる情報の誤掲載は、決してあってはならないことであり、今回の誤掲載が発生したことについて心よりお詫び申し上げます。今後は、掲載の手順やチェック体制の徹底を図り、再発の防止に取り組んでいきます。

【問い合わせ先】

保健福祉部高齢者施策課：03-3312-2111内線1161